

中国語教育学会会報

第54号(通巻79号) 2019年1月21日発行

〒183-8534

東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学 大学院総合国際学研究科

三宅登之研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第17回(2019年度)全国大会発表募集
2. 2018年度第2回編集委員会報告
3. 2018年度第2回理事会報告
4. 研究会開催報告、研究会開催予定
5. 事務局からのお知らせとお願い
 - 5.1. 会員動向・会費納入状況・会費納入のお願い
 - 5.2. 登録情報の変更について

1. 第17回(2019年度)全国大会発表募集

2019年6月1日(土)および2日(日)に、中国語教育学会第17回全国大会を天理大学柚之内キャンパス(奈良県天理市柚之内町1050)で開催します。プログラム等詳細につきましては全国大会ページ(<http://www.jacle.org/annual/>)をご確認ください。

開催に際し、大会発表(分科会発表またはポスター発表)を以下の要領で募集いたします。会員各位におかれましては奮ってご応募ください。

①応募資格

発表の申込は本学会の会員に限ります。**2019年1月31日までに2018年度分までの会費が完納されていない場合は失格となりますのでご注意ください。**

②応募要領

発表希望者はウェブサイト上にある2019年度用のテンプレートを使って「申込書」と「審査用要旨」を作成し、電子メールに添付して大会準備委員会あてに送付してください。**応募期間は2019年2月1日0時(日本時間)から2月20日23時(日本時間)までとします。締切に遅れた場合は理由の如何を問わず一切受理しませんのでご注意願います。**

③書類提出先

タイトルを「中国語教育学会第17回全国大会発表申込」として、本大会準備委員会のメールアドレス(taikai2019@jacle.org)宛に添付ファイルで送信してください。

④採択結果について

採択者の氏名は2019年3月10日頃までに中国語教育学会のウェブサイト上で発表し、採択者にはメールでも通知します。

なお、応募に関しては**全国大会発表応募規定**(<http://www.jacle.org/annual/application/>)に**詳細なルールが記載されています。応募に当たっては必ずご確認ください。**

2. 2018年度第2回編集委員会報告

2.1. 日時・場所・出席者（敬称略）

日時：2018年12月9日（日）10:30～12:30

場所：目白大学新宿キャンパス（東京都新宿区中落合4-31-1）4号館3階4301教室

出席者：加藤晴子、中西正樹、森宏子（委員長）、張恒悦、町田茂

三宅登之（会長、オブザーバー）、李軼倫（幹事、議事録担当、オブザーバー）

2.2. 『中国語教育』第17号査読結果について

投稿原稿のうち5本（内訳：論文3本、実践報告2本）が「修正条件を満たせば採用」と決定された。この結果第17号は以下のような構成となる。

- ・依頼原稿①白井恭弘氏、②山崎直樹氏他6言語担当者、③早稲田大学チュートリアル担当者
- ・論文3本、実践報告2本

2.3. 『中国語教育』第18号編集委員長および編集委員について

編集委員長については、事前に行われた投票において1位の獲得票が同数のため決定できなかった。そのため、第17号編集委員8名により改めてメールによる投票を行うこととされた。

第18号編集委員は、17号編集委員のうち半数を改選することにより決定するルールとなっている。改選により新たに加わるメンバーとしては郭春貴氏、阿部慎太郎氏、安藤好恵氏、兪鳴蒙氏の4名を理事会に推薦することが決定された。

2.4. 編集作業の業務委託について

編集委員長に集中する編集作業の負担を軽減するために、編集作業を業者委託することを理事会に提案することが決定された。

2.5. その他

以下のように今後のスケジュールが確認された。

投稿者宛採否通知	12月12日（水）ごろ
修正稿・回答書締切	1月7日（月）
再査読依頼	1月9日（水）～1月14日（月）
コメント付回答書を執筆者へ発送	1月16日（水）
執筆者最終稿締切	1月21日（月）
入稿	1月23日（水）

3. 2018年度第2回理事会報告

3.1. 日時・場所・出席者（敬称略）

日時：2018年12月9日（日）13:30-16:30

場所：目白大学新宿キャンパス4号館3階4301教室

出席者：三宅登之、郭春貴、平井和之、植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、胡興智、佐々木勲人、鈴木慎吾、中西千香、平山邦彦、村上公一、山田眞一
森宏子（『中国語教育』17号(2018年度)編集委員会委員長）
氷野善寛（デジタルリソース委員会委員長）
中川裕三（第17回全国大会(2019年度)準備委員会委員長）
伊藤大輔、李軼倫、渡邊奈津子（幹事）

3.2. 報告事項

3.2.1. 『中国語教育』第17号査読結果について

第17号掲載原稿として投稿された19本のうち5本が「修正条件を満たせば採用」となったこと、およびその5本のうち3本が論文、2本が実践報告であったことが報告された。また、第17号にはそれらの原稿の他に①白井恭弘氏、②山崎直樹氏他6言語担当者、③早稲田大学チュートリアル担当者への依頼原稿が掲載の予定であることも報告された。

3.2.2. 第16回全国大会(2018年度)開催報告（会計）

同大会の会計および参加者数等について以下の通り報告がなされた。

収入

大会開催費（事務局より）	¥400,000
早稲田学会補助費	¥55,000
大会参加費（事前申込会員152名・非会員29名,当日参加46名）	¥722,000
書店／出版社出展料（14社）	¥46,000
懇親会費（事前申込73名,当日参加8名）	¥324,000
弁当代（事前申込47名）	¥47,000
計	¥1,594,000

支出

振込手数料	¥864
大会案内発送費	¥93,093
予稿集印刷費（200部）	¥164,268
WS資料印刷費	¥2,300
懇親会代（100人分）	¥400,000
弁当代（1日目35個、2日目70個）	¥105,000
人件費（会場案内等アルバイト）	¥266,000
講師費（講演講師50000円×1名、WSコーディネーター20000円×1名、WS講師13000円×7名、講演手話通訳10000×2名）	¥181,000
交通費（講師宿泊費・交通費）	¥61,000
交通費（準備委員会打ち合わせ）	¥13,000
開催用小物代	¥22,119

大会事前打ち合わせ費	¥38,711
大会2日目（お茶, 菓子, 紙コップ等）	¥6,645
送料	¥1,290
計	¥1,355,290
残高（事務局に返金）	¥238,710

3.2.3. 第17回全国大会(2019年度)準備委員会準備状況報告

同大会の準備の進捗状況について以下の通り報告がなされた。

1. 開催日時と会場について

日時：2019年6月1日（土）、2日（日）

場所：天理大学柚之内キャンパス3,4号棟

2. プログラム（敬称略）

【1日目（6/1）】

（1）基調講演

中国語教員が知っておくべき中国語文法知識（使用言語：日本語）

杉村博文（大阪大学名誉教授）

（2）シンポジウム（14:40開始）

中国語ニーズを再考する—行政・市民・学校の視点から—

■（仮題）インバウンド観光における中国語ニーズ（奈良県観光プロモーション課）

■（仮題）外国籍市民が日本社会に求めるもの（近畿大学・高橋朋子）

■社会貢献活動としての中国語教育

（天理大学・中川裕三）／（大阪府立福井高等学校・須田美知子）

（3）スタディツアー（同時開催企画）（14:40開始）

■天理図書館（定員40名、事前申し込み、先着順）

■天理参考館（定員40名、事前申し込み、先着順）

■天理大学CALLシステム紹介（定員40名、事前申し込み、先着順）

【2日目（6/2）】

（1）分科会発表：発表時間20分、質疑応答10分、2会場開催予定

（2）ポスター発表：発表時間40～50分

（3）天理大学CALLシステムの紹介（CHJeru）：午前、午後各1回

3. 今後のスケジュール

2018年	12月20日	ウェブページに第17回全国大会の告知開始
2019年	1月15日（予定）	会報に大会案内と応募要項を掲載して発行（学会事務局）
	2月1日～20日	発表募集受付期間
	3月10日	発表採択者の決定
	4月18日	大会プログラムの発送
	4月23日	予稿集原稿締め切り

4月24日～5月15日	予稿集編集
4月25日～5月15日	事前受付期間（参加申込み後のキャンセル（振込手数料を除いた参加費の返金）は5月15日受付終了日までなら可）
5月15日～20日	予稿集印刷&ウェブ掲載開始 司会担当者にメールで担当分のみ別途送付
6月1日～2日	大会当日

4. 学会託児について

学会が定める金額の範囲内で、託児料金の半額までを学会が補助する。

5. その他

(1) 発表の種類と応募方法

発表形態は1) 分科会発表、2) ポスター発表のいずれかとする。応募は大会準備委員会が指定する期間に、「申込表」と「発表要旨」（1000字）を提出する。

(2) 発表応募時期

理事会終了後、ウェブページ、ニューズレター等で広報を開始し、2019年2月1日から2月20日23:00（日本時間）の期間に申し込みをメールで受け付ける。

(3) 大会参加費について

事前申し込み：会員3,000円／非会員3,500円

当日申し込み：3,500円（会員・非会員ともに）

出店料：3,000円（会員団体）、5,000円（非会員団体）

1日目懇親会：4,000円

詰所宿泊：1泊1,000円（朝食代250円）

天理駅と天理大学の間地点にあり、海外からの留学生や他学会参加者を受け入れた経験が豊富な、天理教敷島大教会信者詰所を大会参加者に開放する。学会サイトとは別に申込用サイトを開設する。

1日目弁当：1,000円（お弁当＋飲物）※当日販売なし

2日目弁当：1,000円（お弁当＋飲物）※当日販売なし

(4) 予稿集について

「デジタル版」と「紙版」を作成。「デジタル版」は大会およそ1週間前から学会ウェブページに掲載。

(5) 懇親会について

日時：1日目プログラム終了後

場所：Park Side Kitchen（天理駅前広場コフフン内）

(6) キャンセルポリシーについての提案

（振込手数料を除いた）参加費の返金は、5月15日受付終了日までなら可。

(7) 同一あるいは類似メンバーが複数の発表をする場合

同一あるいは類似メンバーが複数の発表をする場合、それぞれの発表内容が異なれば問題ない

が、同じ内容であれば認めないこととする。

(8) 発表時の使用言語

発表の申し込みの際に発表時の使用言語を書き込む欄を作る。申し込んだ使用言語以外は発表時認めない。

3.2.4. 研究会開催報告及び今後の研究会開催予定

本年度第1回および第2回研究会の詳細および第3回研究会の準備状況についてそれぞれ報告がなされた。詳細は本会報7頁「4. 研究会開催報告、研究会開催予定」の通りである。

3.2.5. デジタルリソース委員会報告

同委員会の活動について以下の通り報告がなされた。

(1) 学会ウェブサイトの更新について

全国大会：第16回全国大会のページをアーカイブに移動し、第17回全国大会の情報を掲載するとともに、大会用のアドレスを作成した。

研究会・講演会：2018年度第1回～第2回研究会の情報を掲載した。なお、研究会については2017年度より発表概要(要旨)を掲載しており、第2回についてはすでに掲載済みである。

会報：『中国語教育学会会報』第53号を掲載した。

(2) 外部団体等からの掲載依頼

外部団体のイベント告知及び大学等公募情報の掲載依頼があり、いずれも学会のWebサイトに掲載することに問題のない内容であり、また、会員からの掲載依頼であるため、デジタルリソース委員長が採否を決定、委員会で掲載した。

○日本漢字学会第1回研究大会(10/25～12/2)

○中国語教育におけるICT活用ワークショップ(6/10～7/21)

○公募情報：立教大学(専任教員の公募について)(8/13～9/14) ※()内は掲載期間

3.2.6. 会員動向および会費納入状況(会費未納による除籍者報告)

会員動向および会費納入状況について報告がなされた。詳細は本会報8頁「5.1. 会員動向・会費納入状況・会費納入のお願い」の通りである。

3.3. 審議事項

3.3.1. 『中国語教育』第18号(2019年度)編集委員選出について

第18号より新たに加わる編集委員として以下の4名が推薦され、承認された(敬称略)。

郭春貴(理事会選出)、阿部慎太郎(天理大学)、安藤好恵(大東文化大学)、兪鳴蒙(摂南大学)

委員長については午前中の編集委員会で決定しなかったため、後日改めて理事会メーリングリストを通じて理事会の審議にかける旨が報告された。

3.3.2. 編集業務の業者委託について

会誌編集業務の一部を外部委託する案が編集委員会より提起された。審議の結果、細部において確認すべき点が多く残されているという理由により、本案は編集委員会に差し戻しとなった。同時に、原案に沿った形で引き続き議論を進めていくという方針も確認された。

3.3.3. 除籍者の再入会の扱いについて

除籍となった元会員の再入会に関し、そもそも再入会を認めるか否か、また認める場合未納分を要求するか否かを定めた明文規定が存在しないという問題が提起された。審議の結果、再入会に際して未納分の完納を義務付ける形に会則を改定するべく次回理事会に諮ることが決議された。

3.3.4. 『中国語教育』の寄贈先（前回からの継続審議）

前回理事会において、世界華語文教育学会および韓国中国語教育学会の2団体について、事務局が「友好交流備忘録」の内容を確認の上、会誌寄贈の廃止や備忘録の破棄をも視野に入れた対応策を練り、それを各理事に報告することが決定されている。

その調査の結果が事務局より以下の通り報告された。まず、世界華語文教育学会からは、同備忘録が残されていることが伝えられ、今後の本学会との交流を歓迎するとの旨が伝えられた。次に、韓国中国語教育学会からは、同備忘録の内容は確認できないものの、本学会と良好な関係を続けたいという意向が表明された。

以上の報告を踏まえた審議の結果、上記2団体への寄贈を継続することが決議された。

4. 研究会開催報告、研究会開催予定

本年度既にかかれた研究会の詳細は以下の通りです。

第1回

日時：2018年9月29日（土）14:00～17:00

場所：日本大学文理学部3号館2階3202教室

発表者：

藤本澄江（外務省研修所・非）

オーディオブック《如果蜗牛有爱情》における“这”について

白銀志栄（神田外語大学）

「経験」を表す“过2”と“了”との共起をめぐって

平井和之（日本大学）

《現代汉语词典》儿化音表の音素表記試案

参加者数：26名

報告：3名それぞれの研究発表の後に、加藤晴子会員（東京外国語大学）の司会で、活発な質疑応答が行われた。

第2回

中国語教育・学習に関するワークショップ レアリアのツボ、レアリアのチカラ

～レアリアで学ぶ、教える中国語のために～第5弾

日時：2018年10月27日（土）13:00～17:00

場所：愛知大学名古屋校舎（ささしま）L705教室ほか

タイムテーブル：

13:00～13:25会の主旨説明

「レアリアの中の書面語表現とその特徴」中西千香（立命館大学）

13:30～13:55 「レアリアの文法」 荒川清秀（愛知大学）

14:00～14:25 「中国語CMがカバーする文法項目とは」 干野真一（新潟大学）

14:30～14:55 「中国語翻訳版日本漫画に見る「よい翻訳」と「わるい翻訳」—過去の例と最近の傾向」 明木茂夫（中京大学）

15:15～16:00 模擬授業（2クラス）

A：「料理のレシピを読んでみよう—レアリアでジグソー活動」 植村麻紀子（神田外語大学）

B：「講読授業・学習の一例—ニュースでまなぶ硬い動詞そして補語」 塩山正純（愛知大学）

16:15～16:45 授業についての説明&全体討論

17:00 閉会

参加者数：中国語教育従事者、出版社、大学院生5名、学習者（社会人15名、大学生42名）を含め90名の参加者、うち会員19名。

報告：レアリアという普段中国語教育では取り扱われにくいものをテーマに、今回は、その書面語的表現や文法的な側面、また日本の漫画が翻訳される場合の中国語における問題について、4名からの報告があった。その後、学習者が参加しての模擬授業を行った。最後に、参加者からの質疑応答を行い、意見交換をした。

なお、第3回研究会は以下の通り予定されています。

日時：2019年1月26日（土）14:00より

場所：早稲田大学早稲田キャンパス16号館401教室

発表者：

若森幸子（桐朋女子高等学校・非）

学習者の意欲を引き出すルーブリック—高校、大学の実践から—

全民（神田外語大学）

从学生的视点分析整体式多技能中文互动教学—使课堂讨论辩论的“压力”转为“动力”的尝试

伊藤大輔（目白大学）

“往过走”について

5. 事務局からのお知らせとお願い

5.1. 会員動向・会費納入状況・会費納入のお願い

(1) 会員数（2018年11月28日現在）：計515名

（通常会員488名、名誉会員27名／個人会員495名、団体会員20名）

(2) 新入会員（2018年4月～2018年11月28日）：計22名（以下敬称略）

尹青青（中央大学大学院文学研究科・院）、王宇南（西南学院大学）、大羽りん（神奈川大学・非）、小田登志子（東京経済大学）、郭楊（長崎外国語大学）、河村朋江（朋友中国語教室）、黄勇（大阪大学言語文化研究科・院）、茂野瑠美（北京大学・院）、醍醐美和子（杏林大学・非）、張正（東京外国語大学総合国際学研究科・院）、土田正昭（富山県立南砺福光高校・非）、鳥丸知子（九州栄養福祉大学・非）、白海燕（甲南女子大学・非）、日高知恵実（金沢大学）、平林宣和（早稲田大学政治経済学術院）、藤田益子（新潟大学）、

楊彩虹（北海道大学メディア・コミュニケーション研究院）、楊紅（放送大学・非）、李満紅（早稲田大学・非）、林清（桜美林大学）、連静、渡邊俊彦（拓殖大学政経学部）

(3)退会者（2018年4月～2018年11月28日）：計4名

(4)除籍者：計7名

石其琳（筑紫女学園大学文学部）、田村加代子（名古屋大学文学部）、本間由香利（お茶の水女子大学・院）、楊達（早稲田大学文学学術院）、津田量（北京第二外国語大学）、斯日古楞（新潟大学・非）、田村祐之（姫路獨協大学人間社会学群）

(5)会費納入状況（2018年11月28日現在）：2,070,000円

会費に未納分がある会員におかれましては速やかなご納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、2019年1月31日までに2018年度までの会費を完納済みでない、第17回（2019年度）全国大会への発表申込み資格がありませんので、どうかご注意ください。

【郵便局で払込取扱票を使って納入する場合】

払込取扱票（青色）口座記号番号：00110-1-191152 加入者名：中国語教育学会

【銀行から振り込む場合】

ゆうちょ銀行 店名：〇一九店（ゼロイチキユウ店） 預金種目：当座 口座番号：0191152

5.2. 登録情報の変更について

登録情報（住所・所属・メールアドレス等）の変更は、各会員ご自身によりWeb版会員名簿（<https://a-youme.jp/jacle/member2/>）にログインの上行っていただくことになっております。また、退会を希望される方も同名簿にログインして手続を進めていただくこととなります。情報セキュリティの観点より、事務局では登録情報の変更や退会手続をお受けできませんのでご了承ください。

今後『中国語教育』第17号や各種案内の郵送が予定されております。住所に変更がある場合はお早めに手続をお願いいたします。

Web版会員名簿（会員情報管理システム）の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。Web版会員名簿に関するお問合せは下記のあゆみコーポレーションまでお願いいたします。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail support@jacle.org

TEL. 06-6441-5260（代） FAX. 06-6441-2055（代）

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局業務の代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということをお伝えください。